

議長選挙の立候補所信表明

2020年5月11日

日本共産党福山市議会議員団

このたび、議長選挙に立候補いたしました河村ひろ子です。所信表明を行います。

いま、世界中に新型コロナウイルス感染が広がり、感染者数は約398万人、死亡者は約27万6千人、5月10日時点の日本の感染者は1万5747人、死亡者は613人です。お亡くなりになった方々への、心からの哀悼とともに、闘病中の方々にお見舞いを申し上げます。また、医療従事者をはじめ、社会インフラを支えておられる皆様に感謝を申し上げます。

いま、憲法の理念に基づき、国や行政が責任をもって国民の命と健康、安全と安心を確保する施策・予算を速やかに実行することが求められています。

このような政治情勢のもと、福山市が地方自治体として主体性を発揮し、公衆衛生機能や医療体制を強化し、市民の命と健康を守ることが必要です。また、「コロナショック」によって深刻な打撃を受けている住民の暮らし、中小企業経営や地域経済を維持・再生する実行ある取り組みを進めざる事が求められています。同時に市議会も新型コロナ対策に党派や会派を超えて、一丸となって取り組めるよう、私は議会のとりまとめに力を尽くします。

また、二元代表制の下、地方自治体の自主性、独立性を発揮して、国に対等平等に意見を上げるためにも、本市議会の果たす役割は、ますます重要です。

「住民の安全や福祉・健康を保持する」という地方自治体の本旨を一層体現するよう、議会のチェック機能や政策立案機能を発揮し、公平・公正な議会運営に努め、活発な議論の展開と、市民に開かれた議会を実現します。

そのために、私は3つの改革を進めます。

第一に、市民参加の促進や会議公開の原則、情報公開を一層進めます。

市民の意見や要望をきめ細やかに聴取する公聴会を開催するなど、市民要望の議会への反映などその実現に努めます。また、主権者である住民への会議の公開は民主政治には必要であり、すべての会議、委員会等で、市内へのケーブルテレビ中継やネット配信とともに、傍聴者への資料配付や録音の許可や、委員会での傍聴席を増やすなど、公開を一層進めます。また、議会だよりの紙面を増やし、委員会や特別委員会の質疑内容、再質問の内容も掲載できるよう改善します。

第二に、議会は執行機関と緊張感ある関係を保ちつつ、議会での質疑等で市民意見を反映させる重要な役目があります。そのためにも、本会議質問の時間制限の見直しを行い、必要に応じて議会日数の追加など、十分な審議ができるよう改善します。また、休日・夜間議会の開催について検討します。

さらに、本会議場での質問者の資料をスクリーンやタブレットを活用して提示するなど、分かりやすい質問となるよう改善を図りつつ、議員の発言の自由を一層保障できる環境づくりを進めます。

第三に、議員のチェック機能を発揮し、議会でより緻密で深い質疑が行えるようにしていきます。

そのため、常任委員会などの資料を1週間前には配布するよう改善します。決算特別委員会の審査をより正確なものとするために、諸表の閲覧期間を別途設け、チェック機能の向上を図ります。各会派への事務局員配置を進め、聴聞・調査・立案を補佐する機能を強化します。

以上の提案を、議員各位のみなさんと民主的な合意を図りながら、進めてまいります。

最後に、女性の活躍が期待される今日、福山市議会で初の女性議長誕生に、みなさまこぞのご支持をお願い致しまして、所信表明と致します。

以上